



進路指導部通信

令和8年1月22日 No. 7
青森県立弘前第一養護学校
進路指導部

中学部 施設・職場見学

10月3日(金)、中学部生徒を対象に施設・職場見学を行いました。Aグループ1学年は、『共立寝具、りんごの里』、2学年は『飛翔食房』、3学年は『カリフラワー、おらんど、uniメゾン』、Bグループは『エイブル、社会福祉センター(ペットボトルキャップとプルタブの寄贈)』へそれぞれ行ってきました。施設内と作業の見学や、学校ではやったことのない作業体験を通して、将来どんな仕事がしたいか、これからどんなことを身に付けたいのかを考える貴重な機会となりました。



中学部 働く週間

長時間の作業に取り組むことや、働くための基本的態度を身に付ける、また、集団の一員として責任をもって最後まで取り組むことを目標に、11月10日(月)～14日(金)までの5日間、「働く週間」がありました。中学部の作業班は、「紙すき班」「エコクラフト班」「畑・木工班」「リサイクル班」があり、通常は、グループにより週に2時間～4時間ほど行っている作業学習を、5日もの間、午前、午後と1日いっぱい取り組みました。通常の作業に加え、販売学習の準備も行い、疲れをものともせず、5日間頑張りました。



中学部 販売学習

11月19日(水)は小学部6学年と中学部生徒を対象に、20日(木)は中学部保護者を対象に「販売学習」を行いました。各作業班で販売の準備や接客の練習を進め、当日は、お客さんへの言葉掛けやレジの操作にも挑戦しました。「作業学習」と「働く週間」で一生懸命製作した製品を買ってもらったことは、何にも代えがたい喜びだったようです。「誰かに喜んでもらう」ことで、これからの作業学習において大事なことを学ぶことができました。



小学部6学年 中学部販売学習への参加

11月19日(水)、小学部6学年は体育館で行われた中学部作業班の販売学習へ参加しました。きれいにディスプレイしてくれた製品を前に、販売担当の先輩が「いらっしゃいませ」と、少し緊張しながらも優しく話し掛けてくれました。事前に作業学習を見学し、製作工程や作業態度も学び、販売学習につながりました。会場にはポチ袋、コースター、アロマポット、ヒロボくんキーホルダーなどたくさんの製品があり、予算内で買いたい製品を選んでいましたが、みんな素敵に見えて、一点ものの製品に迷いながら選び、会計をしてもらいました。買い物後友達と見せ合い、うれしそうでした。



中学部2学年 高等部見学

12月12日(金)、中学部2学年による、高等部見学がありました。見学では、先輩たちの作業学習の見学と、普段離れている、高等部校舎の見学を行いました。作業学習の見学では、中学部と同じ作業班でもやり方が違う点や、作業班の説明をしてくれた先輩の姿、熱心に作業に取り組む姿勢を大変興味深く見る事ができました。特に、総合サービス班は中学部にはない作業なので「喫茶サービスもぜひ見てみたい。」との感想も聞かれました。質問タイムでは、「学校にどうやって通っていますか?」「スマートフォンを持って行ってもいいのですか?」「作業班はどうやって決めるのですか。」等が出され、高等部に関する知りたいことを教えていただき、自分が高等部になったときのことを考えることができました。



高等部2学年・保護者 職業ガイダンス

11月13日(木)、高等部参観日に高等部2学年のワークキャリアコースの生徒と保護者を対象に職業ガイダンスを開催しました。当日は、青森障害者職業センター 所長 大越 健一 氏を講師に、「就職を目指すための準備」と題してお話いただきました。



生徒に対しては、働き続けるために「コミュニケーション能力(例:感謝と謝罪)」「※「ありがとう」は言えても「すみません」を言えず言い訳する人が多いとのこと」と「仕事の土台になる力(例:報・連・相、ルールを守る)」が大事であることを、保護者に対しては、「日常生活を管理する力(例:身だしなみ、余暇)」と「心と体を管理する力(例:服薬、睡眠、食事)」をサポートしてあげてほしいとご教示いただきました。一般就労や就労継続支援A型を目指す生徒であっても、ご家庭でのサポートはとても大切です。家庭と学校の両輪で、おこさまの働き続けられる力を育てていきましょう。



高等部総合サービス班 第2回ジョブカフェあおもりセミナー

11月20日(木)、高等部総合サービス班を対象に、ジョブカフェあおもりから講師をお招きし、第2回セミナーを開催しました。前半は3学年向けで「働くうえで、大切なこと」と題してお話いただきました。おじぎの仕方、言葉遣い、報・連・相などについて触れられましたが、報告が遅くなると被害が拡大するので、「悪いことほど急いで知らせる」ことが大事とのことでした。(職業ガイダンス同様、「謝罪」できることが大切です。)

後半は2学年向けに「自分の長所を知ろう」と題してお話いただきました。「仕事をするうえで、“興味”が大事。でも、仕事を成し遂げる“能力”も必要。興味があることを見つけて、必要な能力を高めていくように」とのご助言をいただきました。

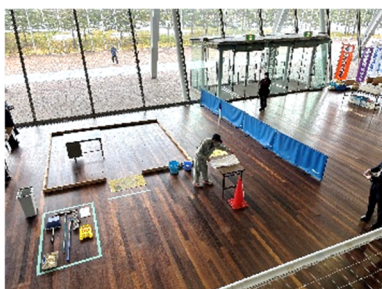


高等部 技能検定・発表会

11月29日(水)に新青森県総合運動公園マエダアリーナを会場に、県内の特別支援学校高等部の生徒が一堂に会し、青森県特別支援学校技能検定・発表会が開催されました。

本校では、高等部生徒全員がいずれかの分野にエントリーしました。清掃分野基礎コース(自在ぼうき、テーブル拭き)、清掃分野応用コース、接客サービス分野、農業分野において、最上級である1級に12名、2級に4名、3級に6名、4級に4名、6級に5名認定されました。また、パフォーマンス発表分野(Bグループ全員)は今年度も中級、動画放映のみのオープン参加の生徒は「輝いてたで賞」と認定されました。PC入力分野の生徒は、少し早めに検定を済ませている関係で、当日は他分野の見学や、展示コーナーでの説明を担当しました。

今年度は、例年より約1ヶ月遅い開催ということも影響してか、体調不良で当日欠席となった生徒が複数いました。次年度も11月に開催予定となっていますので、体調を整えて練習の成果を発揮できることを願っています。



高等部総合サービス班 作業研修 (福祉)

12月12日(金)、高等部総合サービス班を対象に、ヴィラ弘前様から3名の方を講師にお招きして福祉サービスの作業研修を行いました。

説明・講義のほか、①飲み物にとろみを付けた食事介助、②リフト、③車椅子の3つの演習を行いました。「ジュースはそのままの方がおいしいけど、とろみがあった方が飲み込みやすい。」「リフトは一人で移動させることができてすごい。」「車椅子は支援者を信頼できないと怖い。」などと感想をもっていました。



高等部農業班 弘前市農福学連携りんご販売会

12月13日(土)、シーナシーナ弘前で行われた弘前市農福学連携りんご販売会に、農業班(総合サービス班の一部生徒含む)の希望生徒7名が参加しました。

今年度、Farmなる実様で農業体験実習を3回(摘果、葉取り、収穫)行いましたが、生産に携わったりんごがお客様に購入してもらえることで、うれしさややりがいを感じていたようでした。1・2学年の参加生徒のほとんどは、「来年も絶対参加したい」とのアンケート結果でした。



企業・施設情報

特定非営利活動法人 team.Step by step あいおらいと（アクアポニックスタウン）

所在地	〒038-3802 藤崎町大字藤崎字下袋7-10(旧弘前実業高等学校藤崎校舎)
提供サービス	就労継続支援B型
主な作業	・キノコ類の栽培 など(リンゴカ) ・カフェでの調理・接客、農産物の栽培、植栽の手入れ など(アクアポニックスタウン)
その他	・アクアポニックスタウンが令和8年4月頃オープン予定 ・定員:20名 ※アクアポニックスタウンのオープンに伴い増員 ・休所日:月曜日(祝日の場合は翌日) ・利用時間:9:00~17:00 ・送迎:あり(要相談。弘前市内も検討中。) ・現在、リンゴカの建物(旧校舎)内に「あいおらいと」があり、キノコ類の栽培等を行っているが、同敷地内(リンゴカ裏)に新たにアクアポニックスタウンができ、カフェや温室栽培などに取り組む模様。まだ見学は不可。 ・リンゴカ内の「hitoiro(生活介護)」はまだ稼働予定はないとのこと。

ユーススタイルケア青森 重度訪問介護

所在地	〒030-0862 青森市古川1丁目10-13 AQUA古川一丁目ビル7C	
提供サービス	重度訪問介護 ・24時間、365日、医療的ケアを伴う在宅介護サービスを提供 ・調理、掃除、生活において必要になること全般、見守り 等	
対象	障害支援区分4以上で常に介護が必要であり、重度の肢体不自由者・ <u>重度の行動障がいのある知的障がい者・精神障がい者</u>	
その他	・2025年10月1日に開所 ・自己負担額は所得に応じて3パターン(①0円 ②9,300円 ③37,200円) ・全スタッフが医療的ケアの資格を取得している。 ・スタッフは事業所(青森市)から通勤するのではなく、各地域の自宅から利用者宅を訪問するため、弘前市も対応可能。 ・日中活動(生活介護等)から帰宅後、家族が帰宅するまでの数時間の見守りにも対応するとのこと。	

株式会社ダンライ

所在地	〒037-0036 五所川原市中央六丁目61	
事業内容	飲食店経営(モスバーガー・ゆで太郎) ・モスバーガー:五所川原店、青森大野店、弘前城東店、弘前駅前店 ・ゆで太郎:五所川原中央店 ※ゆで太郎弘前店は別会社	
その他	・障がい者雇用の実績はないが、今年度、ゆで太郎で特別支援学校の現場実習を受け入れたことで、雇用を考えるようになった。弘前市でもモスバーガーで実習の受け入れから検討したいとのこと。	

★本通信は学校HPでもご覧になれます。